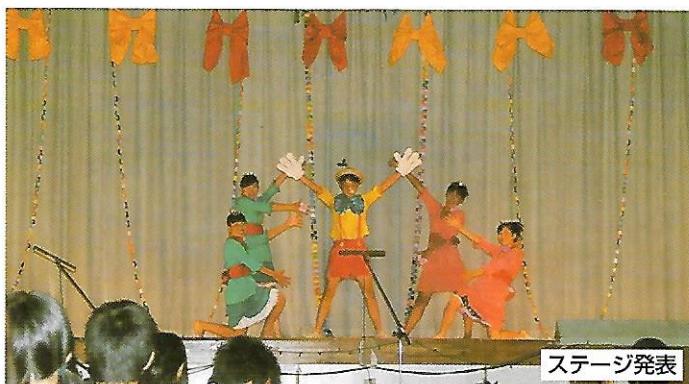




加茂高だより

■発行者/県立加茂高校PTA ■編集/広報委員会 ■TEL/25-2133

KAMO



ステージ発表



御神火太鼓



体育祭



定時制照明祭

学校の大きな行事である、加茂高祭も照明祭も無事終りました。文化祭では展示・ステージとも若者らしい発想と工夫で素晴らしいものでしたし、雨の中の体育祭においても不完全燃焼であつたかも知れませんが、応援合戦では雨足が強くなる中、一糸乱れず前向きに取り組んでいる姿勢に本当に感動しました。

その加茂高祭の数日後、アメリカの同時多発テロが起き、未だに收まりそうにありません。平和な世の中に安住し、今日と同じ明日があることを疑つていなかつた私にとって、その考えのあまりにも浅はかであることを痛感し、各国の緊張状態の上での平和だったことに気づかされました。

世界平和を考えた時、私達大人はもちろん、子ども達も地球規模で物事を考え、これから自分の在り方、日本の在り方について自分の考えをしっかりと持ち、意見の言える人間になりたいと思います。親子で身近な事から世界平和についてまで話しあえる家庭環境を作っていくたいものです。(文責PTA高田恵里子)

学校の大きな行事である、加茂高祭も照明祭も無事終りました。文化祭では展示・ステージとも若者らしい発想と工夫で素晴らしいものでしたし、雨の中の体育祭においても不完全燃焼であつたかも知れませんが、応援合戦では雨足が強くなる中、一糸乱れず前向きに取り組んでいる姿勢に本当に感動しました。

その加茂高祭の数日後、アメリカの同時多発テロが起き、未だに收まりそうにありません。平和な世の中に安住し、今日と同じ明日があることを疑つていなかつた私にとって、その考えのあまりにも浅はかであることを痛感し、各国の緊張状態の上での平和だったことに気づかされました。

加茂春秋

高祭



VISA OF LIFE

その時の家族の思い。ユダヤ人がたつた一枚のビザにかける命。そんな私達には考えられないような現実を三十九人の手で作り上げることにしました。

私達のクラスは男子の多いクラスなので、それぞれの意志をぶつけ合う事が多く、何回台本を変えたかわかりません。キヤストを支える大道具も、一番の見せ場である列車を使つた場面をどうしたら本物らしく、かつ、見る者を圧倒させられるかが悩みの種でした。

「加茂高大賞。VISA OF LIFE。」一瞬の静寂の後、

よりリアルな物にしようと前日まで頑張った大道具さん、調達に東奔西走した衣装さん、ステージを盛り上げる上で欠かすことのできない音響・照明さん、そして今回の目玉でもあつたピアニスト：全員の力を一つにして練習に練習を重ね、本番を迎えました。

文化祭

程あり、文化祭準備と受験勉強に追われる夏休みとなりました。夏休みほとんど学校に出てきて作業していくても「完成するのか。」という不安がありました。

最後は前日・当日の準備です。これはまさに“修羅場”でした。「文化祭に人を見てもらう展示が間に合うのか。」と夜遅くまで、また朝早くから全員がとにかく祈るように作業を続けました。

「感動をありがとう。」
体育館にあふれんばかりの歓声が響き渡りました。

した。結果は優秀賞。しかし、劇を終えての達成感、満足感といったものは、優

は「今年は三の十の展示はできないかもしけない。」と本当に悩みました。

「VISA OF LIFE」これは第二次世界大戦中の出来事。主人公は八百津出身の杉原千秋。外交官として自

ステージ部門賞

うに感じます。
見に来てくれた皆さん、
本当に有難うございました。

文作祭りでは何度も説明しそうになつた時がありました。はじめは企画決定の時です。ずっと展示内容が決まらず、夏休みを目前にして何度も話し合いをして、夏休み二、三日前にやつと企画が決定しました。この時

管門示啓

程あり、文化祭準備と受験勉強に追われる夏休みとなりました。夏休みほとんど学校に出てきて作業していましたが、「完成するのか。」という不安がありました。

最後は前日・当日の準備です。これはまさに“修羅場”でした。「文化祭に人見てもらう展示が間に合っているのか。」と夜遅くまで、また朝早くから全員がとにかく祈るように作業を続けました。

このように大変な文化祭でした。

20世紀博物館 三年十組 杉山恵菜

このよう^に大変な文化祭でした^が、最後まであきらめずにやつて、結果も残すことができて本当によかつたと思^{います}。協力してくれたみなさん、ありがとうございました。

学校如何评价

はじめは企画決定の時で

ピノキオ 二年一組



加茂

いう思いと責任をもってそれぞれの役割を果たした実行力がありました。また、その体育委員を支えて下さった山田哲志先生の協力は、なくてはならないものでした。本当にありがとうございました。

来年も、体育委員が一丸となつて、すばらしい体育行事をつくつて欲しいと思います。

体育委員長として
一年間体育委員長として、
一杯頑張ってきました。我
曰浅拓也

體育祭結果報告



体育祭

北部団員の三百人は自信に満ちていた。そしてその自信が三年ぶりの完全制覇を呼んだ。

最初、三百人の個の集まりだつた団席も練習の回を重ねるうちに一人、また一人と北部という輪に参加して、下ばかり向いていた子も最後にその輪に参加した時、一つの大きな輪ができた。その中で感じた團結力が自信を生んだ。この過程こそが北部が最強たる所以であると思う。

王者で居続けるのは大変な重圧だが、この團結力と自信を持ち続け、「常勝北部」であつてほしいと思う。

飲み物サービスに参加して

PTA 渡辺みちる

様のなか、若者達の歓喜は響く。子供達の若いエネルギーに負けじと、役員さんのお茶だしの手にも力が入る。案の定、昼近くから雨。飲み物の売れ行きも今一つ。次第に雨脚も強くなり、泥濘みを走る子供達や応援合戦は二倍の迫力があった。雨などものともせず健闘する子供達の姿に私たちちは心うたれた。





定時制では十一月十三日、十四日の夜に、照明祭が行われました。

今回の照明祭は、いろいろな制約の中ではあったが、その中で皆で協力し合い、知識を出し合いよい照明祭になつたと思います。僕は定時制に四年間いて、最後に生徒会長として皆と共に今回の照明祭に参加できました。ありがとうございます。ありがとうございました。

これからも照明祭も皆で力を合せて頑張ってくれることを願っています。

照明祭について
四年 平野和博



田口一等空佐には、航空自衛隊に入隊するきっかけや、ブルーインパルスにはどういう役目があるのかをお話していただきました。

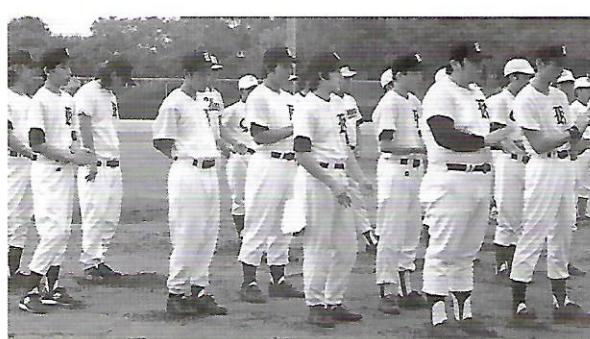
また、ブルーインパルスの歴代の航空機の紹介や、アクロバット飛行時にかかるG（重力）がどのようなものなのかもお話ししていました。だき、最後に我々の質問コーナーにもお答えしていました。

貴重なお話をありがとうございました。

**講演
「ブルーインパルスと共に」**

春の大会は華陽フロンティア高通信制と対戦し、敗れはしたものの二位となり、東海定通大会に出場することができました。三重県の亀山市へ観光バスに乗って出かけました。

全国大会二位の実績もある静岡中央高定時制（生徒数八〇〇人）との対戦でした。この試合で私たちは何と一番から九番まで全員、三振という不名誉な記録を残してしまいました。相手は全日制野球部と変わらない力をもつていたとはいえ、このくやしさをバネに来年



くやしさをバネに来年も!!
定時制 軟式野球部 三年 金子哲也

今年の卓球部は数少ない部員で少ないう活時間の中、練習を積み頑張つてきました。



中でも新入部員の田中君がすばらしい結果を残してくれました。六月の大会では準々決勝進出。十一月の大会では同率三位と、全国大会に手が届くところまできました。女子も初めて団体戦に出場しました。二勝三敗という結果でしたが初めてにしてはよかったです。これからも次

**一步前進
定時制 卓球部 三年 長村恵美**

修学旅行

海外研修の思い出



飛んだー。今日は初めて空を飛んだ記念すべき日。離陸するときはもう感動！みんなの歓声もすごかった。

それから七時間のFlight。民族衣装のスチュワーデスさんと英語で話さなければならない状態になって、初めは心の準備が必要でしたが、慣れきたら少しばかり自信がついた気がしました。

シンガポールに着き、ガイドさんの何さんの活気あるお喋りを聞きながら、ALISON HOTELに向かう。車窓から見た高層住宅の多さと、洗濯物の干し方が印象的です。

都会ですが、同じアジアの親しみが感じられました。

モーニングコールで目覚めた二日目。歴史博物館と国会議事堂。軍隊に加わらなければならぬやうなさを感じ、戦争に勝つ事が優先され、他国を理解する智恵が後回しにされることを思う。反面、私にとってシンガポールの魅力はいろんな人種の人々が、互いを認め合って生活している姿です。最終日のマーライオンの頭の上—少し強い風に吹かれて、青い水平線が遠くにくつきりと見えました。

一一一 岩井淑恵&土屋牧子



沖縄

普通科 & 理数科

今日は糸数壕へ行きました。防空壕と聞いてもその中なんぞ想像もつきませんでした。糸数壕について壕の外でガイドさんの話を聞いているとき

の太陽の日ざしが強烈でした。でもなんだかガイドさんから気が散ることはなかったです。ガイドさんは政府を憎んでいました。その話の中に

は私たちの全く知らない沖縄の地上戦での人々の苦しみが込められているようでした。壕の入口はとても急な階段で

ほんとに転げ落ちそうでした。中は意外に涼しく上から水がポタポタ落ちてきました。懐中電灯がなければ真っ暗でした。とても怖かったです。足場だつて悪いし滑るしあそこの生活が全く予想できませんでした。

今日の中で一番心に残った景色が万座毛でした。きれいな景色というよりその断崖絶壁の迫力に感激しました。下で押し寄せる波が岩に当たっているのはまるで映画の一シーンのようでした。

夕食後、ホタルを見ました。何年ぶりかの螢はぼんやり緑に光つてとてもきれいでした。今日はほんとに素敵なものでした。

一一一 汲田有衣



修学旅行から帰つて来て多くの時間がたつたら、思い出に残つてることが二つあります。

一つは沖縄戦についてです。ビデオを観たりひめゆりの塔の資料館へ行つたりと、旅行前から旅行中まで沖縄戦について学ぶ機会が多くありました。

特に糸数壕に入った時、戦争体験者の平和講話を聞いた時は、本当に激しい戦争があったのだと改めて実感しました。想像など軽く超越した話で怖くなつたことを覚えていました。

そして今も、沖縄の人々には癒されていない戦争の傷があるのだということを忘れてはいけないと強く思いました。

またもう一つの思い出はイノーブラックです。理数科だけは体験講座を自分で選ぶ事ができず残念に思つていましたが、ままこやヒトデなど、めつた物を間近に見ることができてよかったです。



修学旅行へ行って

一一九 渡辺聰子

地区懇談会を

高田和秀

今回地区長として、地区懇談会に参加して第一に感じたことは、参加者が圧倒的に女性であったということです。家庭の事は母親が、といふ経済的な事は父親が、とうことでしようが年に数回は、特に地区懇談会の日ぐらいは我が子のことを家族全員で真剣に考える日にしたらどうかなと思いました。また父親、母親に関わらず家族全員がお互いにもつと干渉しあえる関係になつたから、と思います。そうすればお互いに信頼しあえる家庭を築く事が出来るのではないかと思います。長い人生の中で高校の三年間は、ほんの一ページにすぎないのかなと思います。長い人生の中でも地区懇談会だけに関わらず、年に数回の学校行事には出来るだけ参加するべきではないかと思います。

たに才勢の方は来ていただきたい、折角の機会に親同志の交流を深めることは大変意義深いものと、祈るような気持ちでしたが、たくさんの方の御出席をいたしました。ただ、率直な感想を言えど、お父さん方の出席が少なかった事は、寂しく、物足りなさを感じました。しかしそういう私自身もこうした場に出席するのは初めてで、ただの傍観者でした。会議の話し合いにあたり私の司会進行の稚拙さから適切な話題・テーマをしぼり込むことができず皆さんに御迷惑をかけたことを反省するとともに、残された地区長の役を、皆様の御協力により無事、終了する事を願っております。



茂高校が好きで毎日が実に楽しいようだ。「加茂高で勉強できてよかつた。」そ
う卒業式の日、我が子が語れるようあと少し見守つていきたい。

実感した。子供の年齢が進むほど親の悩みはより深刻となる。だからこそ、こうした地区懇での共に話せる親同士のつながりが一層大切なものになつてくることが分かつた。

対しての保護者の関心の高さに驚かされた。話し合いでは学校・地域・家庭での様子を交流し合った。そしてどの親も我が子のしあわせを願い将来への限りない夢を子に託していくことを

「高校で地区懇が本当に必要なのか。」そんな疑問を持ちながら四月の実行委員会に出席した。小中学校の地区懇はあたりまえのように出席したが、通学範囲が広範囲な高校においてはたしてそれがどういう意義を持つものであるか考えていた。しかし懇談会当日、平日の夜にもかかわらず多数

双葉地区
井戸亨

涉外部 有賀欣哉

平成13年度地区懇談会出席率

地区名	出席率	地区名	出席率
太田	65.8%	蘇南	58.9%
蜂屋	71.4%	中部・東可児	59.8%
山手	74.5%	帷子・春里	56.6%
下米田	71.7%	御嵩・兼山	66.3%
山之上	65.2%	八百津・久田見 福地・朝見	65.5%
古井	65.6%	金山	93.3%
加茂野	59.6%	白川・東白川	70.5%
双葉	74.2%	川辺	88.1%
坂祝	60.6%	上麻生・神淵	76.2%

年度中に会議を開催する予定になっています。今年度の担当者として、検討する際に留意する必要があると思われる点について、以下の四つをあげたいと思います。

- ・学校行事全体の中で、地区懇談会をどのように位置づけるか。
- ・約千二百名の保護者の多様な要望に対し、内容・方法をどのようにするか。
- ・学校完全週五日制の実施により、教員の勤務状況が大きく変化することが予想されます。保護者の要望に對して、学校側の態勢をどのように整えていくのか。
- ・父親がより多く出席できるようにする為にはどのようになります。



元彌さんには3年前に初めて本校体育館で演じてもらつて以来、二度目の加茂高公演ということになります。前回の時は、姉の淳子さん、祥子さんも含めた三人の共演でした。今回は、今や、"時の人"となつた元彌さんがお姉さん分も一手に引き受けて大奮闘。

一歳半から培つてきた力強く美しい至上の芸が全校生徒の心をしつかりと捉え、日本古典芸能の真髓を、そのすばらしさ・面白さを生徒たちに存分に知らしめたようです。鑑賞後、学校へ帰つてから生徒全員が感想を書きました。ここにその一部を紹介します。

劇では、言葉はあまりわからなかつたけど、役者さんの顔の表情でわかつて楽しかった。最後に、和泉元彌さんはすごい偉大な人だと思った。(二年)

今日は生の狂言、しかも和泉元彌さんが見れて嬉しかったです。とても楽しかつたです。とても狂言に親しみがもとまつた。与一の方は「本当にスゴイな」と思つてました。扇の使い方とかでも楽しめるし、ストーリーを知つててまる!」つてのが多くて良かったです。驚いたのはやっぱり声です。狂言の時、トクの時、テレビの中での声、全部違つててさすがだなあと。狂言の声はすごくいい声でした。(二年)

狂言はもっと難しくて理解できぬだらうと思つてたけど、今日初めて見て、面白い

僕は狂言を初めて見て、とつたら声が変わって独特のしゃべり方でびっくりした。あのシンプルな舞台でいろいろな表現ができるのがすごいと思った。昔の日本人のきれいな心がわかつた感じがした。

劇では、言葉はあまりわからなかつたけど、役者さんの顔の表情でわかつて楽しかった。最後に、和泉元彌さんはすごい偉大な人だと思った。(二年)

今日は生の狂言、しかも和泉元彌さんが見れて嬉しかったです。とても楽しかつたです。とても狂言に親しみがもとまつた。与一の方は「本当にスゴイな」と思つてました。扇の使い方とかでも楽しめるし、ストーリーを知つててまる!」つてのが多くて良かったです。驚いたのはやっぱり声です。狂言の時、トクの時、テレビの中での声、全部違つててさすがだなあと。狂言の声はすごくいい声でした。(二年)

最初のはわかりやすくないん面白かったです。二つ目のは難しく、聞いているだけではわからなかつたけど、動きはわからなかつたけど、動き思ひ浮かびました。とても楽しい狂言をありがとうございました。(三年)

今日は生の狂言、しかも和泉元彌さんが見れて嬉しかったです。とても楽しかつたです。とても狂言に親しみがもとまつた。与一の方は「本当にスゴイな」と思つてました。扇の使い方とかでも楽しめるし、ストーリーを知つててまる!」つてのが多くて良かったです。驚いたのはやっぱり声です。狂言の時、トクの時、テレビの中での声、全部違つててさすがだなあと。狂言の声はすごくいい声でした。(二年)

狂言はある程度知識がないと楽しめないものだと思います。例えば、初めに説明して手話を学び、ボランティア活動を行うことで「障害者」とくられたように犬の鳴き声とかがわからないと面白くないし、がわからないと面白くないし、崩れ、消えていったことはとても貴重な体験でした。他にも、地域の人々との交流や、部員と過ごした時間など、すべて

全国大会も無事終了。入賞も果たし全国各地にたくさんの方達もでき、部活動では有意義な時を過ごすことができました。

狂言は多くの人が興味を持っています。笑えた自分にビックリ。動作とか音の表現が特に面白かった。六百年も前から伝わっていて受け継がれてきたと思う。狂言はとても想像力が豊かだったんだなあと思う。狂言はとても奥が深いなあとと思う。日本の文化は独特で面白いと思った。

三年間を通して私は、様々な体験をすることができました。手話を学び、ボランティア活動を行って、「障害者」とくられたように犬の鳴き声とかがわからないと面白くないし、がわからないと面白くないし、崩れ、消えていったことはとても貴重な体験でした。他にも、地域の人々との交流や、部員と過ごした時間など、すべて

手話部 三年一組 古田朱美

部活動を通して

「和泉元彌の狂言を観る」

奥田美智子



第18回
全国高校生の手話によるスピーチコンテスト

主催 全国高等学校連盟 組合会議 連合会議文化委員会 埼玉県教育委員会 千葉県教育委員会 滋賀県教育委員会 静岡県教育委員会 愛知県教育委員会

後援 全国高等学校連盟 組合会議 連合会議文化委員会 埼玉県教育委員会 千葉県教育委員会 滋賀県教育委員会 静岡県教育委員会 愛知県教育委員会

